１００文字要約のまとめのポイントと記入例

ポイント

○県二さんをチームで支援していくための共通理解を得やすくするもの。

○本人の気持ちに寄り添ったもの（本人の**想いを代弁**できるもの）でありながら、家族にも了解してもらえる内容。

○本人の言葉と支援者の見立て**（伸びしろ）**が入る。

○本人に伝え、合意形成を得ることが重要。

○情報をふるいにかけてまとめる。

**支援者の見立て（伸びしろ）**

例文

○僕は、母が急に亡くなってさみしい。だけど、プラモやゲームをしたり、友だちのいるひまわりで楽しく過ごしたい。僕は、**できないところを手伝ってもらいながら**、両親との想い出がいっぱいつまった家で暮らしたい。そうすれば**お兄さんも安心すると思う**。

**本人の想いの代弁**

（１１７文字）

○僕は、**お兄ちゃんに迷惑をかけないで**、これからも実家で母親と一緒だったような生活を続けていきたい。そのために、**自分が苦手なところを手伝ってほしい**。また、昼間は、何もすることがなく暇なのでひまわりに行ってみたい。（１０４文字）

**今演習のニーズ整理表における１００文字要約の位置づけ**

〇今回は本人の言葉や、気持ちを整理して支援者が**代弁する**ことに重きを置いたまとめ方で、チームで支援していくための共通理解を得やすくすることを目的とする。

※正解はないので、各グループで出たキーワードを組みあわせて文章を作成する。

〇近藤式アセスメントフォーマットを使用して**ケースレポートを行う場合**の１００文字要約は、**支援者視点**でケースの概要を簡潔に伝えること目的とする。

ケースレポートの際の100文字要約　例文

〇30歳知的障害の男性。半年前に同居していた母を亡くし、一人暮らしになったものの、健康面や、金銭管理などの課題があり、親族からはGHでの生活を勧められている。本人は実家暮らしの継続を望んでおり、家族と意見が合わずに困っているケース（114文字）